PART2 災害への備えと被災地支援

Chapter1　防災・減災への取り組み

目標
国や自治体による防災・減災の取り組みを理解しよう。
私たちができる防災・減災の取り組みについて考えよう。

1　防災・減災のための取り組み

・防災とは，災害を未然に防ぐための備え。
・〔　　　　〕とは，**自然災害**を完全に防ぐことはできないという視点に立ち，**被害**を**最小限**に抑えるための備え。
・**国**や**自治体**が主導する**防災・減災**の取り組みに加え，〔　　　　　　　　　〕が**主体者**として取り組み，意識を高めていく必要がある。

2　国や自治体による防災・減災の取り組み

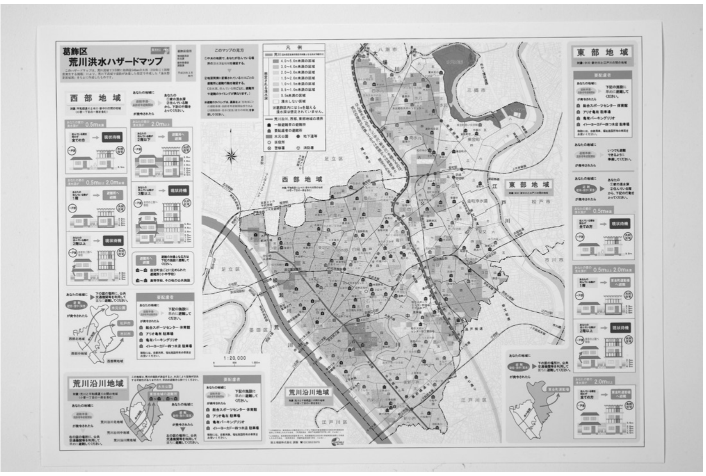
・**国**や**自治体**が主導する防災・減災の取り組みは，**構造物**の建造や補強，〔　　　　　　　　　　　　　〕の作成，〔　　　　　　　　〕の計画と実施など多岐にわたる。
・**堤防**や**ダム**の建設（洪水・土石流対策），〔　　　　　　　　　　　　　　〕の建設（津波対策），建物の**耐震化**・**耐火化**（地震対策），土地利用計画の作成など。
・災害が繰り返し起こっている地域では，**避難所**となる施設に〔　　　　〕を備蓄。
・また，最近は災害発生時に素早く正確な**情報**を発信する〔　　　　〕運営も。

自治体による避難訓練

津波避難タワー

3　私たちができる防災・減災の取り組み

- 国や自治体の取り組みだけに頼らず，**一人ひとり**が**知識**や**習慣**を身につけ行動に移すことが大切。
- 地域の地形や自然環境の特徴をとらえ，起こりそうな災害についての理解を深める。〔　　　　　　　　　　　　〕で災害の発生しそうな場所を読み取り，**避難場所**や**避難経路**の確認。地域の**防災訓練**への参加。
- **非常用持ち出し袋**の準備や，室内家具の安全な配置。
- **防災無線**やラジオ，携帯電話・スマートフォンの警報機能，テレビ，インターネットなどで**防災情報**を入手し，避難勧告・避難指示，**緊急地震速報**などの防災関連情報を正しく理解する。
- 万が一に備え，**家族**と連絡方法を事前に決めておく。



ハザードマップ

東京都防災
（スマートフォンアプリ）

まとめ　構造物の建造や補強，ハザードマップの作成，避難訓練の計画と実施など。
居住する地域の特徴を理解し，ハザードマップの確認をするなど。

Chapter2　被災地への支援

目標
共助の考え方を実践するには，どのようなことが重要だろう。
災害時の避難行動を具体的にイメージする手段を知ろう。

1　自助・共助・公助

・災害に備えたり，実際に災害が発生したときには，**自助・共助・公助**の考え方が大切である。
・〔　　　　〕：自分の命を**自分**で守ること。避難所の確認，家屋の耐震対策など個人レベルの対策。災害発生時には，まず**自分や家族の身**を〔　　　　〕で守ることを優先する。
・〔　　　　〕：みんなの命を周囲の人と協力して守ること。〔　　　　　　　〕らと協力し合い, 防災・減災に向けた行動を取る。〔　　　　　　〕や**障がいを持つ人**などを支援し，みんなが助かるように行動する。**ボランティア**も共助の一つ。
・〔　　　　〕：みんなの命を**国・自治体**などが守る。防災施設の整備，情報提供による自助・共助の支援。災害発生時には，被災地の〔　　　　　　〕が中心となり，**救助活動**や〔　　　　　　　〕の運営，**医療活動**などを行う。被害が甚大で，自治体のみでの対応が難しい場合には，**警察**，**消防**，〔　　　　　　〕の出動や，ほかの自治体からの応援が行われる。

高校生によるボランティア

自衛隊による救助活動

2　私たちにできる事前の備えと被災地支援

・**災害発生時**には，〔　　　　〕による活動が中心となるが，全ての地域に均一に**支援**の手を届けることは難しく，〔　　　　〕・〔　　　　〕も大切。

・災害発生時に**自分**や**身近な人**を守るためには，事前の備えが欠かせない。最近では，**ゲーム**を通じて災害発生時の状況や，避難所での生活を**学習**できる。

・**ボードゲーム**による防災訓練：〔　　　　　　　　　　〕や〔　　　　　〕を用い，地図の上で地域の**地理情報**や防災上の情報を整理する。居住地で発生する可能性のある**災害**や**発生地**を可視化し，その対策を検討する。

・**カードゲーム**を通じた防災訓練：カードに書かれた状況に対して YES・NO の判断をし，災害発生時の**ロールプレイ**を行う。災害発生時の状況を詳細に想像することができる。

・〔　　　　　〕の進む山地などでは，**土砂**や**がれき**の撤去を担える人材が不足し，〔　　　　　〕は大変優秀な**ボランティア**になりうる。いざというときに動けるよう，事前の備えを万全にしよう。

ボードゲーム

カードゲーム

3　復旧・復興

・〔　　　　〕とは，災害で損なわれた建物や**電気・ガス**などの〔　　　　　　　　　〕が元の機能を取り戻すこと。

・〔　　　　〕とは，そこで**暮らす人々**の〔　　　　〕の再建，**経済**や**産業**の振興，被災者の**心のケア**も含めた言葉。

・被災してはじめて**復興計画**を立てるのではなく，現在では前もって事前復興計画を作成する**自治体**も。

まとめ
地域の人々との協力が必要であり，地域コミュニティが重要となる。
ゲームを通じて，災害時の状況をシミュレーションするなど。

第15講　PART2　確認問題

1 自然災害を完全に防ぐことはできないという視点に立ち，被害を最小限に抑えるための備えを何というか。

①　減災　　②　治災
③　低災　　④　備災

2 災害発生時に必要な助け合いとされる，３つの言葉に**あてはまらない**ものはどれか。

①　共助　　②　公助
③　自助　　④　全助

3 自助の考え方に基づく行動にあてはまるのはどれか。

①　公共施設の耐震化
②　地域の避難訓練の実施
③　非常用持ち出し袋の準備
④　SNS での情報発信

4 公助の考え方に基づく行動にあてはまるのはどれか。

①　近所に住む高齢者の避難誘導
②　ほかの自治体への応援要請
③　地域の復興ボランティアへの参加
④　自宅の耐震化

5 災害発生時に素早く正確な情報を発信するために，多くの自治体で運用をはじめているものをアルファベットで何というか。

①　G I S　　②　G P S
③　S N S　　④　S O S

6 避難場所・避難経路の確認などができる地図のことを何というか。

① コロプレスマップ　② ドットマップ
③ ハザードマップ　④ メッシュマップ

7 土砂やがれきの撤去を担える人材の不足が深刻となる，地域の人口が減少していく様子を何というか。

① 過疎化　② 過密化
③ ドーナツ化　④ グローバル化

8 災害などで供給が損なわれることがある，電気・ガスなどの生活に必要なものを何というか。

① ライフゾーン　② ライフプレイス
③ ライフビルディング　④ ライフライン

9 電気・ガスや壊れた建物が元の機能を取り戻すだけでなく，被災者の生活再建や心のケアまで含めた言葉はどれか。

① 復旧　② 復興
③ 回復　④ 再生

10 災害発生時に備えて持っておくべき姿勢や，災害発生時に取るべき行動として**誤っている**ものはどれか。

① ボードゲームやカードゲームで災害発生時のシミュレーションを行う。
② 自己犠牲を伴っても，災害が発生したらすぐにボランティアに参加する。
③ 非常用持ち出し袋を準備する。
④ ハザードマップで地域の特徴を理解する。

第15講 PART2　確認問題 解答

1 解答：①

減災とは，災害によって起こりうる被害を最小限に抑えるため，あらかじめ行う取り組み。

2 解答：④

自助とは自分の命を自分で守ること，**共助**とはみんなの命を周囲の人と協力して守ること，**公助**はみんなの命を国・自治体などが守ること。

3 解答：③

自分の命を自分で守るため，普段から**非常用持ち出し袋**を準備しておくことは大切。①②④は公助の考え方のもと，自治体が中心となって行う取り組み。

4 解答：②

ほかの自治体や警察・自衛隊の出動要請は，自治体などが主導して行う取り組み。①③は共助の考え，④は自助の考えのもとに行う取り組み。

5 解答：③

ＳＮＳとはSocial Networking Serviceの略。

6 解答：③

ハザードマップは，災害が起こりうる危険地域を示すほか，避難場所・避難経路なども示されている。

①：コロプレスマップは，統計数値をいくつかの階級に区分し，パターンや色で区別した地図。
②：ドットマップは，点で数量や分布を表現した地図。
④：メッシュマップは，地図上に等しい形・面積ごとに網をかけて情報を表示する地図。

7 解答：①

地域の人口が減少していく様子を**過疎化**という。逆に，人口集中が進むことを過密化という。

8 解答：④

日本では，電気・水道・ガスなど，生活に必要な設備を**ライフライン**という。

9 解答：②

壊れた建物の再建やライフラインの機能が元の通りに戻ることを**復旧**といい，地域に住む人々の生活再建や心のケアまで含めた言葉は**復興**という。

10 解答：②

災害発生時，まず大切なのは自分の命を自分で守ること。高校生は優秀なボランティアとなりうるが，自分と家族の命の安全を優先する。